



5月定例記者会見 発表項目



- ・平成26年4月の船舶事故・人身事故発生状況(速報)
- ・平成26年度「海洋環境保全推進月間」及び「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」の実施について



平成26年船舶事故発生状況

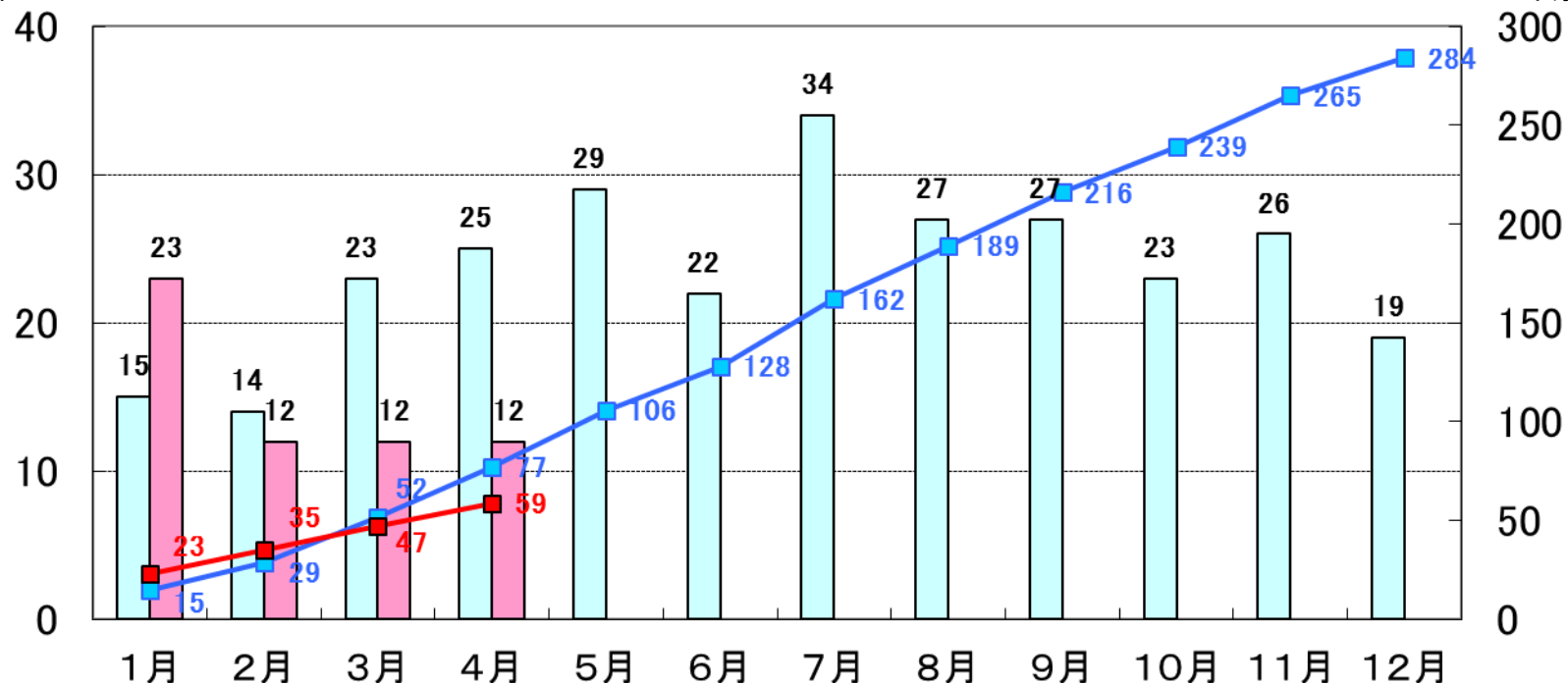
ア 事故隻数

平成26年4月中の船舶事故は12件12隻、前年(19件25隻)と比べて13隻減少となりました。

なお、死者・行方不明者は0名(前年0名)でした。

単位(隻)
月計

単位(隻)
年累計



□ 平成25年海難隻数(速報値)

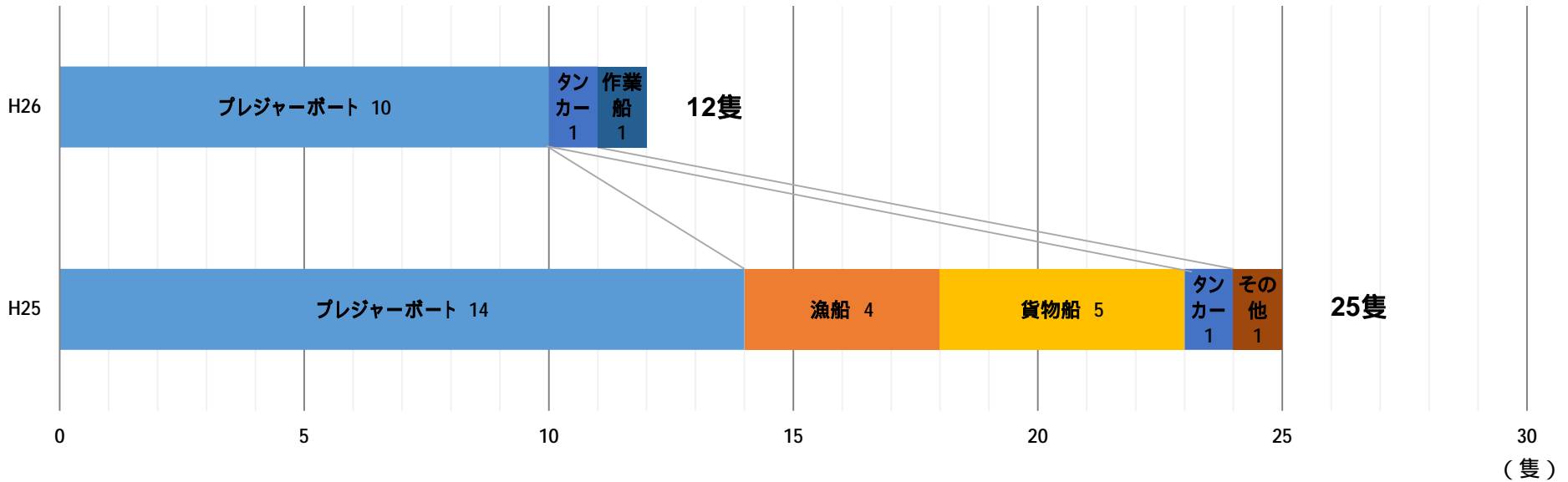
□ 平成26年海難隻数(速報値)

■ 平成25年海難隻数(速報値累計)

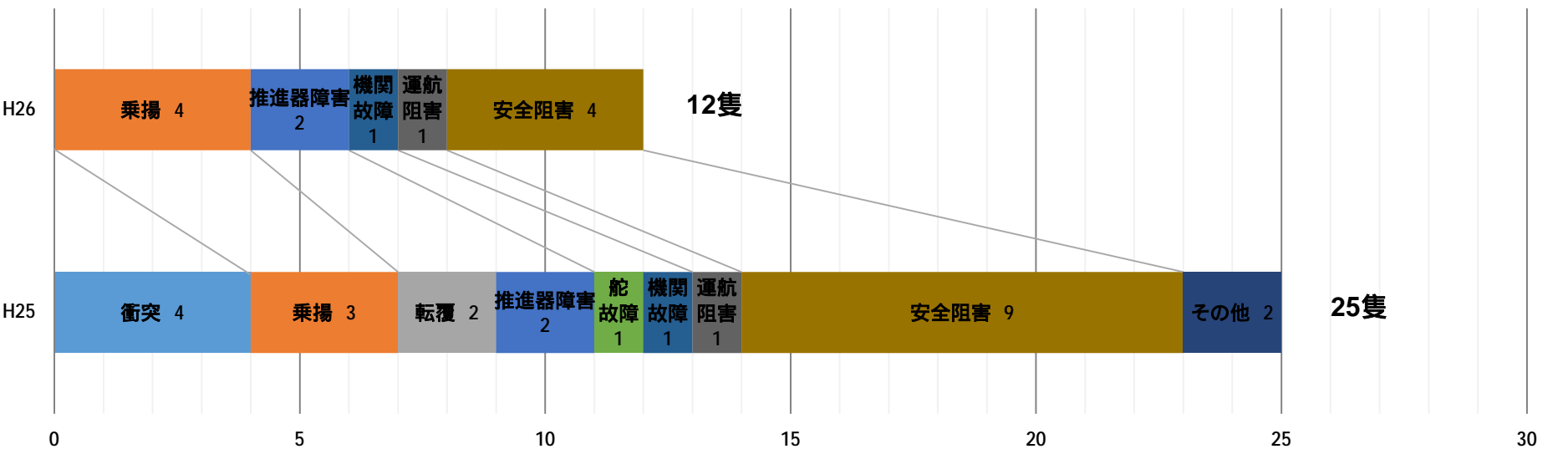
■ 平成26年海難隻数(速報値累計)

イ 船種別・海難種類別隻数

(船種別)



(海難種類別)



運航阻害 バッテリー過放電、燃料欠乏、ろ・かい喪失及び無人漂流をいう。

安全阻害 転覆に至らない船体傾斜、走錨及び荒天難航をいう。

(隻)

【平成26年4月】主な船舶事故事例

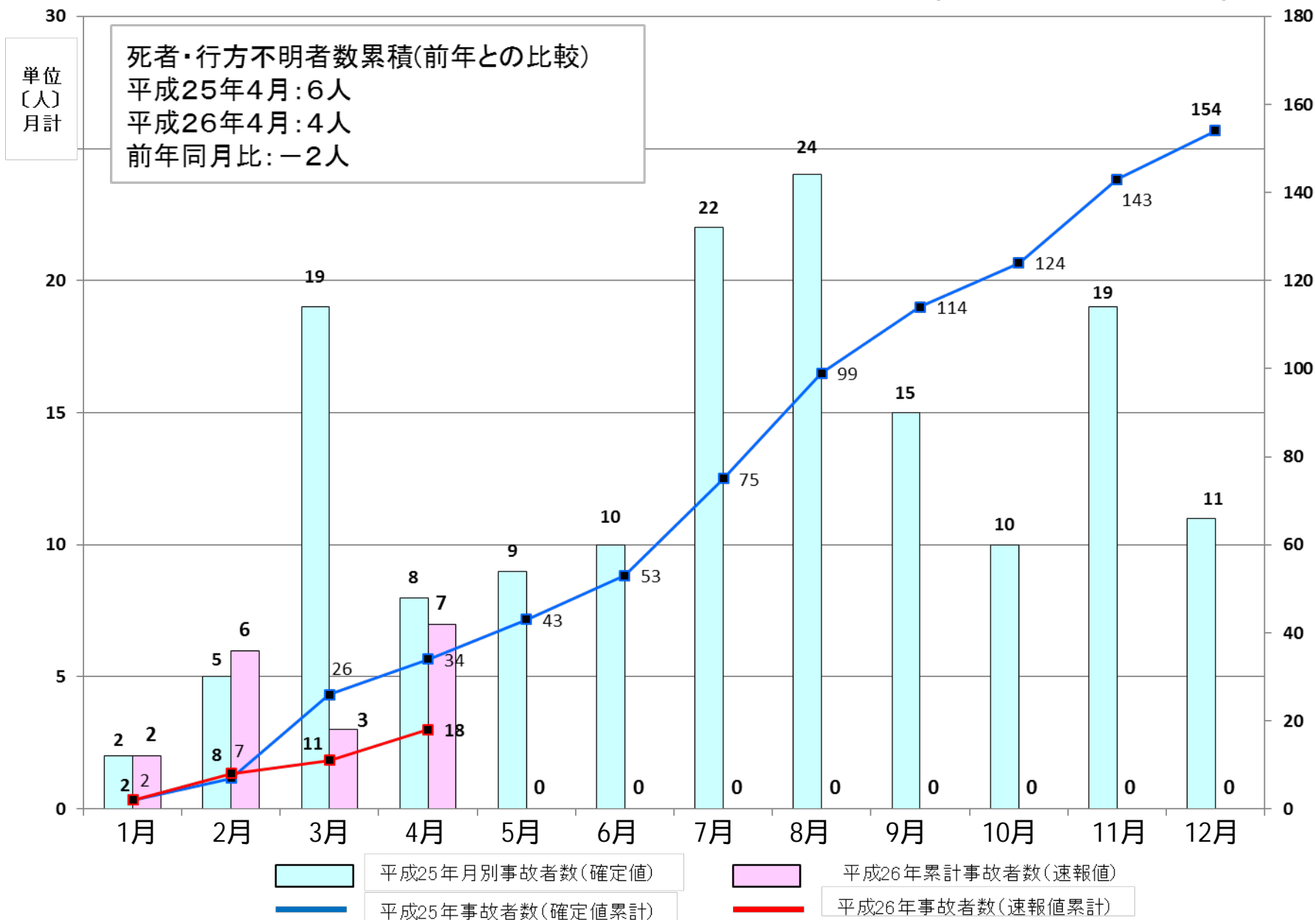


発生日時	平成26年4月3日(木) 午後12時20分頃
発生場所	大阪北港マリーナ北側海域
事故船舶	タンカー 2名乗組み
概要	上記海域を航行中、水路の状況把握が不十分であったため、浅瀬に乗揚げたもの。

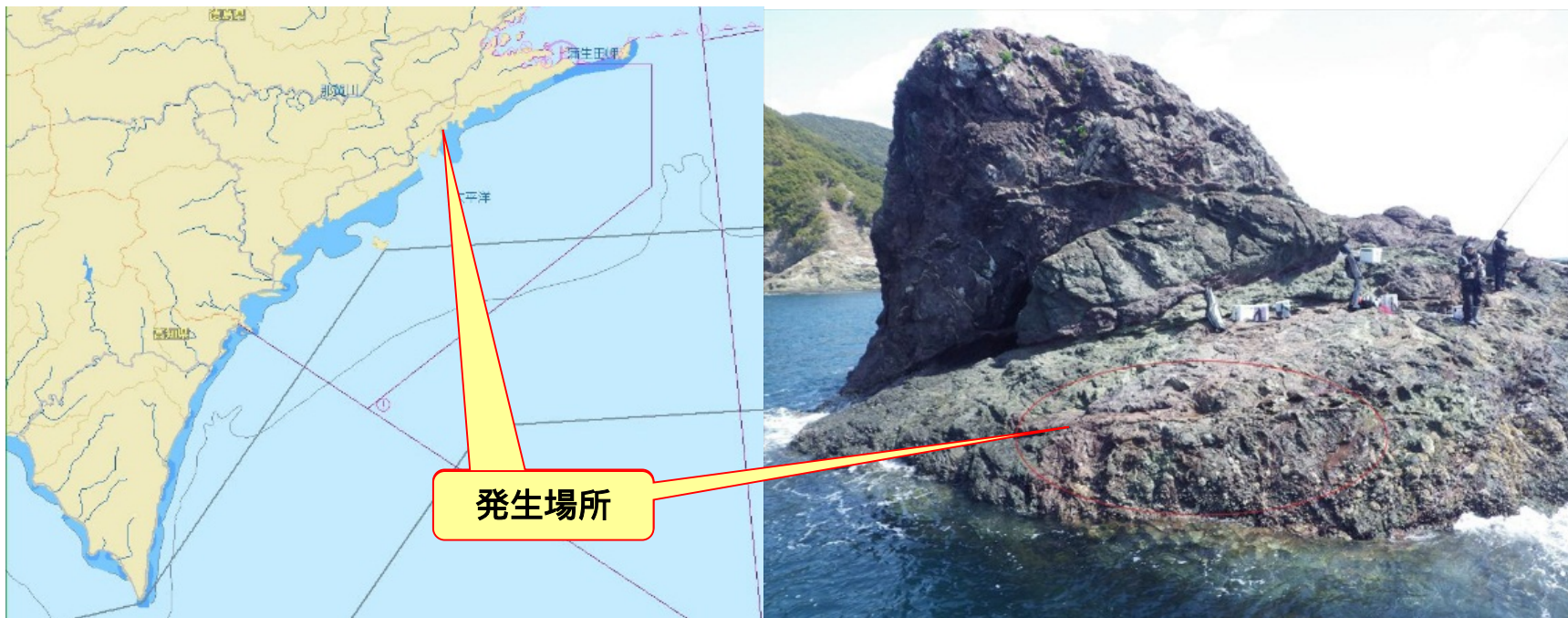


発生日時	平成26年4月27日(日) 午後12時30分頃
発生場所	大阪府貝掛海岸沖
事故船舶	水上オートバイ 1名乗組み
概要	貝掛海岸沖を航走中、消波ブロックに操船を誤り乗揚げたもの。

平成26年マリンレジャーに伴う人身事故発生状況(H25年との比較)



【最近の主な人身事故事例】



発 生 日 時	平成26年4月6日午前7時ころ
発 生 場 所	徳島県海部郡美波町明丸海岸沖、通称「イカリ」
事 故 者	徳島県在住 60歳代 男性
概 要	事故者は磯釣りのため、渡船から磯場に渡るとき、渡船船長の合図を待たずに渡り始めたが、うねりによる船体動揺で飛び降りたときにバランスを崩して背面から落下し、肩を負傷した。

平成26年度「海洋環境保全推進月間」及び「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」の実施について

第五管区海上保安本部では、国の環境月間である6月を「海洋環境保全推進月間」とし、「未来に残そう青い海」をスローガンに、海洋環境保全に関する各種指導啓発活動を実施するとともに、「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」の作品募集を開始します。」

平成25年、第五管区海上保安本部管内において確認した海洋汚染発生件数は39件であり、その内32件(82%)が油類による汚染となっています。

排出源別で見ると、船舶を排出源とする汚染が24件(75%)となっており、原因別で見ると、燃料給油や移送時におけるバルブ操作の取扱不注意等の「過失」によるものが12件(31%)、経費や手間を惜しんで違法に排出した「故意」によるものが6件(15%)で、これら人為的要因によるものが半数近くの46%を占め、次いで海難によるもの11件(28%)となっています。〔円グラフ参照〕

(詳細は第五管区海上保安本部ホームページ参照)

このため、平成26年度の海洋環境保全推進月間においては、人為的要因や海難に起因する船舶からの油類排出による海洋汚染を減少させるべく、

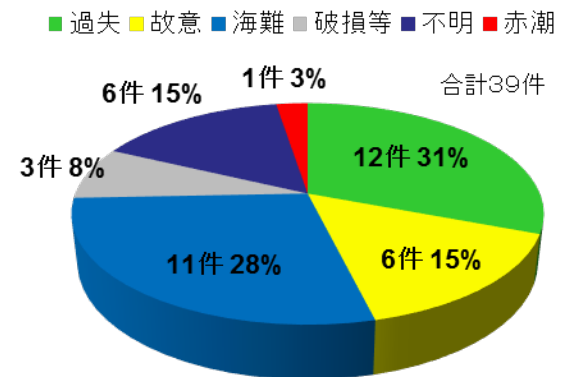
海上工事関係者を含む海事・漁業者等を対象とした、

- ・ 訪船・訪問による油類排出防止等にかかる指導啓発
- ・ 海上環境法令の遵守励行を図る講習会

を重点に実施するほか、一般市民や漁業関係者を対象とした廃棄物の不法投棄防止にかかる指導啓発や、ひとたび発生すると甚大な海洋汚染に直結する海難を未然に防止するため、現在、展開中の「霧海難防止キャンペーン」とも連携しつつ、訪船・訪問による海難防止指導にも力を入れることとしています。

また、これから海洋環境保全を担っていく小中学生を対象に「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」の作品募集を6月から開始します。

平成25年 原因別発生確認状況の推移



昨年度の図画コンクール五管区内優秀作品を用いた啓発ポスター

【参考】昨年度の「海洋環境保全推進月間」実施状況

1 漁業・海運業関係者等を対象とした指導

「油の不法排出の防止」を重点項目として、漁業・海運業関係者を対象に海洋汚染防止関係法令の遵守等と呼びかける講習会の開催、訪船指導及び事業所を対象とした訪問指導を実施しました。

訪船指導 60回 / 125隻 (61回 / 91隻)

訪問指導 22回 / 96箇所 (32回 / 69箇所)

海洋環境保全講習会 4回 / 90人 (2回 / 74人)

海上工事作業指導 4回 / 5人 (0回 / 0人)

()は前年度の活動実績

講習会



2 一般市民を対象とした普及・啓発活動

子供を含む一般市民の方々を対象として、海洋環境保全への関心を高めるための環境教室等の開催、地元住民、ボランティア団体等と連携協力しての海浜清掃を通じ海洋環境保全啓発活動を実施しました。

海洋環境保全教室 16回 / 805人 (12回 / 749人)

海浜清掃を通じた啓発活動 11回 / 7,308人 (11回 / 6,429人)

()は前年度の活動実績

海浜清掃を通じた啓発活動



「第15回 未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」作品募集について

第五管区海上保安本部では、将来を担う小中学生の子どもたちに海洋環境について考える機会を与えることで海への関心を高め、海洋環境保全思想の普及を図るとともに、海上保安業務への理解、支援の促進を図ることを目的として、小中学生を対象に『未来に残そう青い海』をテーマとした海上保安庁図画コンクールを実施します。

作品応募受付期間：平成26年6月2日(月)～平成26年9月9日(火)

優秀作品については、第五管区海上保安本部による表彰式を行うほか、作品展示会の開催、海洋環境保全啓発のためのポスターや海上保安庁の印刷物に使用し、海洋環境保全思想の普及等に活用します。

応募要領等詳細は、[第五管区海上保安本部ホームページ](#)に掲載します。(配布資料参照)
入選作品の決定及び表彰式の実施等については、11月中旬頃 あらためてお知らせします。

【参考】昨年度の五管区内応募数：小学生低学年の部1,119作品、小学生高学年の部887作品、中学生の部1,184作品

昨年度の五管区内優秀作品

小学生低学年の部

【第五管区海上保安本部長賞】

和歌山県白浜町立富田小学校2年生
柏木 康冨さんの作品



小学生高学年の部

【第五管区海上保安本部長賞】

徳島県徳島市立助任小学校5年生
杉原 瑛子さんの作品



中学生の部

【第五管区海上保安本部長賞】

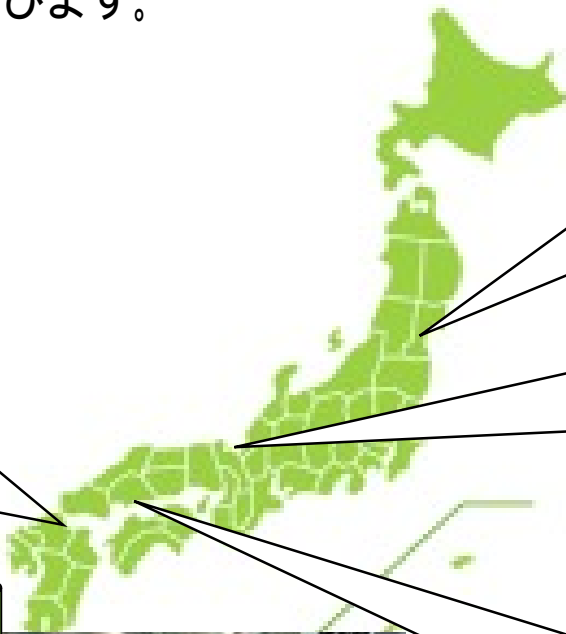
徳島県徳島市立富田中学校2年生
坂部 有香さんの作品



船艇職員等の募集について

海上保安庁では、既に海技免状等の一定の資格を有している方を対象に職員(海上保安官)を募集しています。採用された職員は福岡県北九州市にある海上保安学校門司分校で6ヶ月間の研修を受けることになります。

門司分校では、海上保安官として必要な基本的知識及び技能を習得するとともに、巡視船艇、航空機などの運用技能や実務を学びます。



授業風景

